

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 17号)

2026年3月17日発行

兵庫のみ研究所

海域全般にレプトシリンダラス等の小型珪藻が確認され、海域西部ではスケルトネマ等、多種の珪藻類がやや多い状況です。窒素は、陸水の影響が見られる海域地先で3~8 $\mu\text{g at/L}$ 台、海域沖筋で1~2 $\mu\text{g at/L}$ 台、高砂漁場で1 $\mu\text{g at/L}$ 以下の値となっています。

(水温) 漁場内平均10.2℃ (平年比0.1℃、昨年比1.3℃ともに高い)。(塩分) 平均32.86psu。前回(32.74)より0.12psu高い。

(珪藻、栄養塩)

海域西部(二見漁場西部以西)ではレプトシリンダラスに加え、スケルトネマやギナルディア等、多種の珪藻類がやや多く確認され、別府漁場⑥ではスケルトネマが多く確認された。また、ユーカンピアは別府漁場⑥のみで、わずかに確認された。

海域地先(魚住鋼管漁場~加古川)では、陸水の影響が強くと見られ、アンモニア態窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.8	10.2	10.1	8.9
窒素	4.1	3.0	3.1	4.8
リン	0.37	0.35	0.32	0.42

(3/10)

(3/18)

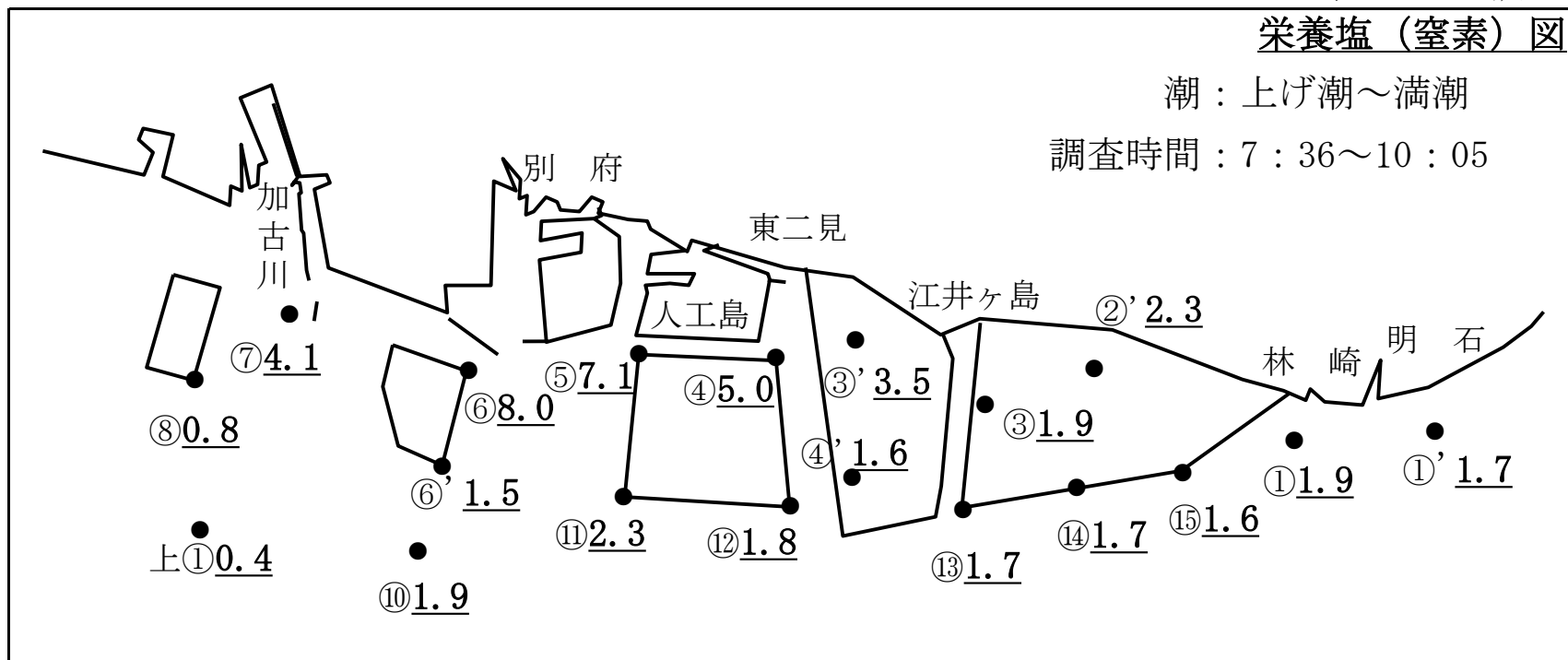
※窒素の平均は
⑥別府を除く。

2026年3月17日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：上げ潮~満潮

調査時間：7:36~10:05



水温図

